



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和7年10月①
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



◆行動すれば必ず何かは残る

暑さ寒さも彼岸までということば通り、今年は彼岸の入りと同時に空気が変わり、秋に入るのだなと感じました。



秋と言ったら何を連想しますか。「食欲の秋」「読書の秋」「行楽の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「勉学の秋」……、などなどいろいろ。

今月の塔婆裏文は、「魚行水濁」。

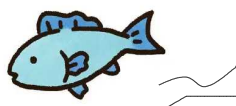
行動すれば必ず何かは残るということを表しています。

この言葉は『碧巖録』^{へきがんろく}に書かれていることばです。禅宗の言葉がたくさん書かれている中国の仏教書で禅語と言えますが、「うおゆけばみずにごる」と訓読します。

魚が泳ぐと水が濁りそこにいた形跡が残るという情景を思いうかべてください。この言葉の後に、「鳥飛落毛(とりとべばけおつ)」が続きます。

魚
行
水
濁

何か行動を起こせば、
明らかな成果が見えなくても、またその時は目標が叶わなくても、必ず何かを残しているということです。



努力したことで得たものは、他人からはもとより、自身の目にも見えない時もあります。それでも努力は人間力を高め、その力は人として生きる力になります。

見返りを求めずコツコツと努力したことは必ず誰かが見えています。

自分の生きる力にするため、夢を叶えるため、辛いことでも目の前のことに懸命に努力したことはいつか実ります。

何かをして
変わった人は
いても
何もせずに
変わった人は
絶対にない



参道下掲示板は上記の通り。頭で考えるだけでなく、ちょっとしたことでも行動に移してみたいものです。



朝ドラ「ばけばけ」が始まりました。松江が主たるドラマの舞台となり、いっそう興味がわきます。

小泉八雲は「あなたの話、あなたの言葉、あなたの考えでなければいけません。」との言葉を残しています。自分自身が主体的に関わるのが大切なのだと思います。

何歳になっても、あらたな成長はあるもの。日中の暑さがぶり返すようなこともまだあると思いますが、短い秋を有意義に過ごしたいものです。

